

音 楽

目 次

○ 指導計画作成の立場	381
○ 題材一覧表	383
○ 指 導 計 画	
・ 小学部	385
・ 中学部	391
・ 高等部	399

1 指導計画作成の立場（音楽）

(1) 基本的な考え方

精神発達遅滞児は、音楽に対する感受性や表現への意欲は豊かである。しかし、それに対して、楽器の演奏や歌唱、身体表現などの音楽的表現力が弱い。そのような児童生徒に対して音楽教育は、美しい音楽を聴かせたり、表現させたりする活動を通して、音楽的活動を心から楽しませることができる。また、合唱や合奏などの集団学習を通して、協調性や集団参加能力を高めることができる。これらのことにより、動的・情意的な自己表現力が高められ、豊かな人間性を陶冶していくことができるとともに、音楽を通して余暇を活用することができ、社会生活への適応力を高めることにもなると考えられる。

本校の児童生徒の様子を見ると、音楽を聴いたり、表現したりする活動に意欲的に参加し楽しんでいる姿が見られる。しかし、まだ与えられた音楽のみに関心を示したり、同じ曲ばかり聴いていたりする児童生徒がほとんどであり、その表現方法も未熟で音楽的活動を十分に楽しむまでには至っていない。また、自分から進んで様々な音楽を聴く児童生徒は少なく友達と一緒に音楽を聴いていても、それぞれが独自で楽しんでおり、友達同士でかかわり合いながら音楽的活動を楽しんでいる姿もあまり見られなかったりする。これは、様々な音楽に触れる機会が少なかったり、表現する方法をよく知らなかったり、音楽を受容する能力や表現する能力が十分に発達していなかったりするためと思われる。

そこで本校では、いろいろな音楽を聴かせたり、表現させたりする活動を通して、音楽的活動に興味・関心を持たせ、音楽の美しさや楽しさを味わわせるとともに、音楽的な感受性を豊かに育て、情緒の安定を図っていききたい。また、音楽の表現及び鑑賞の能力を高め、音楽を通して友達とのかかわりを深めていくとともに、音楽を生活の中に主体的に取り入れていけるようにしていきたい。

具体的には、児童生徒の自我の発達段階、欲求、興味・関心を考慮し、歌唱（音域、発声音程感）、器楽、身体表現等の実態に合わせて指導内容、方法を工夫していくことにより、音楽への興味・関心を高め、音楽の美しさや楽しさを味わわせていくとともに、表現及び鑑賞の能力を高めていく。また、楽しいリズムミカルな曲だけでなく、静かな曲や日本古来の曲など、選曲にも幅をもたせ、いろいろな音楽に触れさせることにより、音楽的な感受性をより豊かに育てていく。

さらに、身体表現活動を多く取り入れたり、内容と方法に変化を持たせたりし、常に全身で音楽を受容し、音楽の喜びを感じ取らせることにより、情緒の安定を図っていく。また、音楽に触れ合う機会をより多く持たせることにより、音楽への関心を高めていくとともに、合唱や合奏など友達同士でかかわり合えるような場の設定をしていくことにより、協調性を養い、かかわりを深めていく。

以下、各学部の基本的な考え方である。

- ・ 小学部においては、児童の興味・関心のある曲や季節の曲を取り上げ、身体動作を伴いながら歌わせたり、打楽器を中心とした楽器に触れさせたりし、身体全体で音楽を楽しませるとともに、欲求を十分に満たしながら、身近な音楽についての興味・関心を持たせ、その美しさや歌唱、身体表現、合奏などの音楽的活動の楽しさを味わわせていく。

- ・ 中学部においては、いろいろな曲想の音楽を聴かせたり、歌わせたり、簡単な曲を合奏させたり、曲に合わせて身体表現したりすることにより、音楽に親しませ、興味・関心を高めていき、身体表現や楽器演奏、歌唱などの能力を養っていくとともに、生活の中に進んで音楽的な活動を取り入れられるようにする。
- ・ 高等部においては、いろいろな音楽に触れさせる中で、中学部で、養われた能力を更に伸ばすとともに、自分の好きな音楽に気付かせ、生活の中で楽しめる音楽へと発展させていく。

(2) 目 標

- いろいろな音楽を聴いたり、音楽に合わせて簡単な表現をしたりすることにより、音楽についての興味・関心を持たせるとともに、その美しさや音楽的活動の楽しさを味わわせる。
- いろいろな音楽を聴いたり、表現したりすることを通して、音楽に対する興味・関心を高め、音楽の表現及び鑑賞の能力を養っていくとともに、進んで音楽的活動に参加する態度を育てていく。
- いろいろな音楽を聴いたり、表現したりすることを通して、音楽の表現及び鑑賞の能力を伸ばすとともに、豊かな情操を養い、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。

(3) 指導計画作成上の配慮事項

- ① 児童生徒の興味・関心、発達段階等の実態や特性を考慮して題材を設定し、配列に当たっては、生活単元学習、季節、行事、他教科との関連等を十分に考慮する。
- ② 指導領域は、「表現」と「鑑賞」の二領域とし、題材の中でそれぞれが有機的・統合的に展開できるようにする。
- ③ 発達段階や興味・関心等を考慮した指導内容を設定するとともに、生活年齢に即した楽曲を導入し、生活化を図られるようにする。
- ④ 小学部は学部全体と学級単位、中学部と高等部は学部全体による学習指導を行うが、題材によってはほかの授業形態も導入する。
- ⑤ 授業時数は、週2時間で年間35週をして算定し、題材に応じて配当する。

2 活用上の留意点

- (1) 楽曲は、児童生徒の実態や興味・関心に基づき、「参考楽曲一覧表」を参考にしたり、教師の創意工夫を生かしたりして選定する。
- (2) 学習内容については、その中から児童生徒の実態に合った学習活動を指導者が選定し、指導を行っていくだけでなく、展開においても教師が随時創意工夫していく。
- (3) 学習したことを随時日常生活の中に取り入れ、生活化を図る。
- (4) 絵楽譜や指導用 CD・テープ等を準備し、学習の展開に役立てる。

【音楽 題材一覧表】

小学部

中学部

高等部

月	時数	題 材 名	時数	題 材 名	時数	題 材 名
4	10	うたでなかよし (p 385)	10	みんなで歌おう (p 391)	6	みんなで歌おう (p 399)
5						
6	12	楽器であそぼう (Ⅰ) (p 386)	12	楽しいリズムⅠ (p 392)	8	楽しいリズム (p 400)
7						
9	8	リズムに合わせて (p 387)	8	楽しい表現Ⅰ (p 393)	14	日本のふし (p 401)
10	8	楽器であそぼう (Ⅱ) (p 388)	8	ようすをおもいうかべ て歌おう (p 394)		
11	14	リズムに合わせて (p 387)			10	楽しいリズムⅡ (p 395)
12						
1	14	わらべうたであそぼう (p 389)	6	わらべうた (p 396)	14	楽器で表現 (p 403)
2			8	楽しい表現Ⅱ (p 397)		
3	4	思い出のうた (p 390)	4	気持ちをこめて歌おう (p 398)	4	気持ちをこめて (p 404)

【参考楽曲一覧表】

(小学部)

うたでなかよし	「チューリップ」「はるがきた」「でておいで」「ひげじいさん」「ワルツで拍手」「あくしゅでこんにちは」「おててをつなごう」「チャチャチャであそぼう」「こぶたぬきつねこ」「ひらひら」「どんがらぶし」「とけいのうた」「こいのぼり」「手をたたきましよう」「おべんとうばこのうた」「ちょうちょ」「おへんじはい」「かもつれっしゃ」 など 鑑賞曲:「ぶらんこ」 など
楽器であそぼう (Ⅰ)	「かえるのがっしょう」「アイアイ」「おもちゃのチャチャチャ」「かたつむり」「しろくまのじゃんか」 など 鑑賞曲:「おもちゃのシンフォニー」 など
リズムに合わせて《9月》	「うんどうかい」「ドラえもんマーチ」 ・運動会のリズム曲 ・いろいろな行進曲 など 鑑賞曲:「アメリカン パトロール」 など
楽器であそぼう (Ⅱ)	「大きなたいこ」「すず虫さんの電話」「ことりのうた」「タイコとタン布林」「ドレミのうた」 など 鑑賞曲:「おもちゃのへいたい」 など
リズムに合わせて《11月, 12月》	「おみこしわっしょい」「虫の声」「大きなくりの木の下で」「とんぼのめがね」「どんぐりころころ」「まつぼっくり」「夕やけ小やけ」「ジングルベル」「サンタが町にやってくる」「あわてん坊のサンタクロース」「たき火」「お正月」「ゆき」 など 鑑賞曲:「かじやのポルカ」 など
わらべうたであそぼう	「なべなべそこぬけ」「ぼうず」「おちゃをのみに」「東京都日本橋」「たけのこいっぽんおくれ」「あぶくたった」 など 鑑賞曲:「ひらいた ひらいた」 など
思い出のうた	「思い出のアルバム」「うれしいひなまつり」「さようなら友よ」 など 鑑賞曲:「おどる子猫」 など

(中学部)

みんなで歌おう	「校歌」「ホホホ」「中学部の歌」「小さな世界」「手のひらを太陽に」「ピクニック」 「森の熊さん」「大きなうた」「若者たち」「おお牧場はみどり」「ひとりの手」「切手の ないおくりもの」 など 鑑賞曲:「さくらさくら」 など
楽しいリズムⅠ	「ドレミの歌」「たのしいね」「みんなでつくろう」「あわてんぼうの歌」「うみ」「一日 のおわり」 など 鑑賞曲:「小犬のワルツ」 など
楽しい表現Ⅰ	「うんどうかい」「若い力」「マーチングマーチ」 ・運動会のリズム曲 ・運動会の入場 行進曲 など 鑑賞曲:「トルコ行進曲」 など
ようすをおもい うかべて歌おう	「まっかな秋」「もみじ」「赤とんぼ」「小さい秋みつけた」「ふるさと」「風の歌が聞こ えますか」「勇気一つを友にして」「ふじ山」 など 鑑賞曲:「魔王」 など
楽しいリズムⅡ	「おみこしわっしょい」「村まつり」「山の音楽家」「聖夜」「魔王」「ジングルベル」 「サンタが町にやってくる」「あひるのコーラス」 など 鑑賞曲:「カルメン序曲」 など
わらべうた	「いっぽんばしこちょこちょ」「おちゃらか」「かごめかごめ」「花いちもんめ」「ずいず いずこころばし」「おてぶしてぶし」 など 鑑賞曲:「おはやし」 など
楽しい表現Ⅱ	・学習発表会のリズム曲 など
気持ちをこめて 歌おう	「さようなら友よ」「ありがとう・さようなら」「どんな時も」「それが一番大事」「国 歌」「贈る言葉」「思い出のアルバム」 など 鑑賞曲:「森の水車」 など

(高等部)

みんなで歌おう	「大きなうた」「しあわせのうた」「気球にのってどこまでも」「しあわせならてをたたこ う」「花」「ゆかいに歩けば」「歌えバンバン」「荒城の月」「幸せなら手をたたこう」 「四季の歌」 など 鑑賞曲:「野ばら」 など
楽しいリズム	「パラダイス銀河」「駅馬車」「山の一日」「ウンパッパ」「ジェンカ」「タタロチカ」 「サモア島の歌」「イルカはザンブラコ」「チキチキバンバン」「グリーングリーン」「キ ャンパドホイ」 など 鑑賞曲:「春の声」 など
日本のふし	「鹿児島おはら節」「五木の子守歌」「最上川舟歌」「ドンパン節」「はんや節」「島唄」 「大漁うたいこみ」「黒田節」「奄美の六調」「斉太郎節」「あさどやゆんた」「八木節」 「竹田の子守歌」 など 鑑賞曲:「春の海」 など
音のひびき	「村の婚礼」「歓喜の歌」「白い恋人たち」「トンバイ」「赤い花白い花」「風」「メモ リー」「イエスタデー」「聖者の行進」「ホワイトクリスマス」 など 鑑賞曲:「くるみ割り人形」 など
楽器で表現	「エルクンバンチュロ」「バラが咲いた」「ドラムマーチ」「若者たち」「大男の行進」 「トロイカ」「ねこふんじゃった」「さんぽ」「トトロのうた」「ひまわり療養園の歌」流 行歌 など 鑑賞曲:「モルダウ」 など
気持ちをこめて	「乾杯」「今日の日はさようなら」「さようなら友よ」「校歌」「国歌」「マイウェイ」 「ドナドナ」「かあさんのうた」「はたるの光」「出発の歌」 など 鑑賞曲:「アイネクライネナハトムジーク」 など

小学部音楽

題 材	うたでなかよし	月 (時数)	4～5月 (10時間)
目 標	○ 曲が流れている中で自由に体を動かしたり、教師や友達と一緒に歌ったり、簡単な身体表現をしたりする喜びを味わわせるとともに、身近な音楽に興味・関心を持つことができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>1 いろいろな曲の流れている中で、自由に体を動かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リズミカルな曲、ゆったりした曲、力強い曲などに合わせての動作 ・ 歩く、走る、跳ぶ、はうなど ・ ちょうちょ、鳥などの動作 ・ 遊具を使った動き など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな速さやリズムの曲を取り上げ、曲に合わせて自由に体を動かせたり、いろいろな速さやリズムの違いを楽しませたりする。 ・ 寝転んだり、歩いたり、走ったりなど子供たちの日常から動きを取り上げていく。 ・ 絵カードなどを用いて、興味を持たせたり、その動きを知らせたりして、楽しみながら動作化できるようにする。 ・ 曲の速さや強弱を変えることにより動きにも変化を持たせながら身体表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ ピアノ ・ 絵カード ・ 遊具 	<p>音 1-1, 6, 7 8 2-4, 6, 8 9 3-6, 7 体 1-23, 24 2-24 3-28 道 3-(1)</p>
<p>2 いろいろな歌を歌ったり、身体表現をしたりする。</p> <p>(1) 自由に身体表現しながら歌う。</p> <p>(2) 教師の動きを模倣しながら歌う。</p> <p>(3) 友達と一緒に歌ったり、踊ったりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師も一緒に身体表現するとともに子供たちの動きをみんなで模倣したりして楽しく身体表現できるようにする。 ・ 歌詞に合った簡単な動きを取り入れることにより、動きを覚えやすくする。 ・ 手拍子だけでなく、簡単な打楽器も取り入れて、楽しみながらできるようにする。 ・ 友達同士で二人組などになって踊れるような曲を選定する。 ・ 相手を替えていろいろな教師や友達と一緒に踊れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ ピアノ ・ タンブリン ・ カスタネット ・ トライアングル ・ ウッドブロック など 	<p>音 1-6, 18 19 2-6, 9 17～21 3-6, 7 12, 16 20 体 1-23 2-24 3-28 道 2-(2) (3) 3-(1)</p>
<p>3 曲の鑑賞をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由に身体反応のしやすい曲を選び楽しみながら音楽を聴かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー 	<p>道 3-(1)</p>

題 材	楽 器 で あ そ ぼ う (I)	月 (時数)	6 ~ 7 月 (12週組)
目 標	○ 音遊びや楽器遊びをしたり、自分たちで作った楽器を鳴らしたりする活動を通して、いろいろな音色に気付かせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>1 音遊びや楽器遊びをする。</p> <p>(1) 音出し遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ たたく (手で、ばちで) ○ 振る (マラカスなど) ○ 引く (鐘など) ○ こする (ギロなど) ○ 吹く (擬音笛、オカリナなど) ○ はじく (ギターなど) ○ ひねる (カバサなど) など <p>(2) 音当て遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器 ・ 鳴き声 ・ 乗り物の音 ・ 自然の音 など <p>(3) 楽器を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 材料を準備する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米, 大豆, 小豆, 砂 ・ 空き缶, 空き容器, 箱 ・ 色付きテープ, 油性ペンなど ○ 楽器を作る。 ○ 作った楽器を鳴らす。 <p>2 曲の鑑賞をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなものを手でたたいたり、振ったりなど自由に音を出させ、音を出すことへの興味・関心を持たせる。 ・ 教室だけでなく、調理室や運動場などいろいろな所に出掛け、子供たち自身に身の回りにある音の出るものに触れさせる。 ・ おもしろい音の出し方をしている子供の様子を教師もまねしたり、他の子供たちに紹介したりして、いろいろな音の出し方を知らせる。 ・ 音当てのときは子供が知っている楽器や、動物の鳴き声、救急車やパトカーの音、雨や風、波の音などを準備する。 ・ 子供たちが、音に注意を向けるように始めは小さな音を聞かせ、次第に大きな音を聞かせる。 ・ 中に入れるものによって出てくる音が違うことに着目させ、子供たちに好きなものを選んで、楽器を作らせるようにする。 ・ 色付きテープや油性ペンなどで容器の外側に飾りを付けさせ、楽しく楽器作りができるようにする。 ・ 一人ずつ自分の作った楽器を発表させる場を設けるようにする。 ・ 子供たちの親しみのある曲に合わせて振ったり、転がしたりなど、自由な演奏を楽しませる。 ・ 作った楽器だけでなく、子供たちの好きな楽器も準備しておくようにする。 ・ いろいろな楽器が使われている曲を選び、楽器を見せたり、子供に音を出させたりしてその音色に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机 ・ 床 ・ いす ・ 空き缶 ・ なべ ・ フライパン ・ そろばん ・ ざる ・ 太鼓 ・ ばち ・ マラカス ・ 笛 ・ 鐘 ・ ギロ ・ ギター ・ カバサ など ・ 米 ・ 大豆 ・ 小豆 ・ 砂 ・ 空き缶 ・ 空き容器 ・ 色付きテープ ・ 油性ペン ・ テープレコーダー ・ C D ・ L D 	<p>音 1-11~17</p> <p>音 2-2, 11</p> <p>音 3-4</p> <p>道 4-(1)</p> <p>音 2-16</p> <p>音 3-8</p> <p>道 3-(3)</p>

題 材	リズムに合わせて	月 (時数)	9, 11, 12月 (22時間)
目 標	○ リズムを体で感じ取り、リズムに合わせて表現したり、聴いたりすることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>1 いろいろなリズムの曲に合わせて、身体表現をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行進曲 ・ ワルツ ・ 民謡 など <p>(1) 曲が流れている中で、自由に体を動かす。</p> <p>(2) リズムに合わせて歩いたり、走ったり、手拍子を入れたりする。</p> <p>(3) リズムに合わせて踊る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事や季節と関連した曲を選曲する。 (例) 9月：運動会のリズムの曲や行進曲 11月：祭りの曲 12月：クリスマスの曲 など ・ 歩いたり、走ったりなど、体全体でリズムを感じらせ、徐々に、手拍子や足拍子などの部分的とらえ方へと移行させる。 ・ リズムが分かりやすいように、タンブリン等で、拍子打ちを入れる。 ・ 一人で発表する場やグループで発表する場、全員で踊る場など、いろいろな発表の場を設けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ タンブリン 	<p>音 1-1, 7, 8 音 2-4, 6, 9 音 3-3, 6, 9 体 1-23 2-23, 24 3-28</p>
<p>2 いろいろなリズムの曲を歌ったり、楽器で演奏したりする。</p> <p>(1) 範唱を聴く。</p> <p>(2) 歌う。</p> <p>(3) 楽器名やその音を聴く。</p> <p>(4) リズム絵譜を見て演奏する。</p> <p>(5) 合奏をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 打楽器 大太鼓、タンブリン、トライアングル、鈴、カステネット など ・ 旋律楽器 ハーモニカ、鍵盤ハーモニカ、オルガン など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の感じや内容を表わすような絵や写真を見せるなどして、歌への理解を深めさせる。 ・ 主なリズムフレーズを聞かせたり、リズム打ちをさせたりなどして、リズムに合わせて歌えるようにする。 ・ 指揮をさせたり、フレーズごとに歌わせたりする。 ・ いろいろな楽器を準備し、その音色に興味を持たせる。 ・ リズム譜に楽器の絵を描くなどして、リズムを分かりやすくする。 ・ 子供の希望や実態に応じて、楽器や演奏するパートを決め、合奏させる。 ・ 楽器の扱い方にも随時、触れるようにする。 ・ いろいろな行進曲やワルツ、民謡などをリズムの違いに気付かせながら聴かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ 歌詞表 ・ 大太鼓 ・ タンブリン ・ トライアングル ・ 鈴 ・ カステネット ・ ハーモニカ ・ 鍵盤ハーモニカ ・ オルガン 	<p>音 1-3, 11, 12 音 2-2, 13, 15, 16, 17 音 3-4, 7, 12, 13, 14 道 2-(3) 道 4-(1) 道 3-(3)</p>
<p>3 曲の鑑賞をする。</p>			

題 材	楽 器 で あ そ ぼ う (Ⅱ)	月 (時数)	10月 (8時間)
目 標	○ 打楽器でリズム打ちやリズム合奏をさせたり、旋律楽器で簡単なメロディーを弾かせたりすることにより、楽器に親しませ、その音色の美しさや演奏することの楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容		留 意 点	準 備 関連内容
1 楽器遊びをする。 (1) 音出し遊びをする。 (2) 曲に合わせて自由に楽器を鳴らす。		<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな楽器を準備し、鳴らし方を知らせるとともにいろいろな音色があることを気付かせる。 ・ 子供によっては、タンブリンをひもで首から掛けさせて演奏させたり、ステンレスパイプをいくつかつるして作るツリーチャイムなど、手作りの楽器を準備したりして、演奏の仕方や楽器を工夫する。 ・ 音楽が流れる中で自由に踊ったり、いろいろな楽器を鳴らしたりさせ、曲の雰囲気に触れさせる。 ・ 目かくしをしたり、録音テープを聴いたりして、楽しみながら名前と音を覚えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大太鼓 音 1-13, 14 ・ 小太鼓 15, 16 ・ タンブリン 17 ・ トライアングル 音 2-7 ・ 鈴 ・ カスタネット ・ マラカス 音 2-13 ・ ウッドブロック 音 3-11 ・ ギター 音 3-11 ・ コンガ 道 2-(3) ・ ギロ 道 4-(1) ・ クラベス ・ ハーモニカ ・ 鍵盤ハーモニカ ・ 木琴 ・ 鉄琴 ・ オルガン など ・ テープレコーダー ・ C D ・ L D
2 合奏や部分奏をする。 (1) 範唱を聴く。 (2) 楽器名とその音を確認する。 (3) 自由に楽器を鳴らす。 (4) リズム楽器を使ってリズム打ちをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大太鼓, タンブリン, トライアングル など ・ 鈴, カスタネット など (5) 部分奏をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ リズム楽器 ・ 旋律楽器 ハーモニカ (鍵盤ハーモニカ), 木琴 (鉄琴), オルガン など (6) 合奏をする。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 打楽器を使って、教師の拍子打ちや、簡単なリズム打ちを模倣させる。 ・ リズム譜に楽器の絵をかくなどして、リズムを分かりやすくする。 ・ 楽器の使い方にも随時触れるようにする。 ・ 個に応じて、旋律楽器にも取り組ませリズムを簡単にしたり、弾く音を少なくしたりして反復練習させる。 ・ 一人で演奏させたり、友達と演奏させたりなど発表の場を設定し、表現する喜びを味わわせる。 ・ 互いに音を聴き合って合奏することにも気を付けさせる。 ・ いろいろな楽器が使われている曲を選び、楽器を見せたり、曲に合わせて部分的に演奏させたりして、その楽しさを味わわせる。 	道 3-(3)
3 曲の鑑賞をする。			

題 材	わらべうたであそぼう	月（時数）	1～2月（14時間）
目 標	○ 教師や友達とかかわりながらわらべ歌遊びすることを通して、歌う喜びや歌いながら体を動かす喜びを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 手遊びうたをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼうず ・ いちり ・ とうきょうと ・ ここわ ・ おやゆび ・ いっすん など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちが、無理なく歌えるように、教師は明るく高い声で、ゆったりとしたテンポで歌う。 ・ 子供がリラックスして歌えるように、教師は笑顔で語り掛けるように歌う。 ・ しぐさや遊び方が定着できるように、繰り返し何度も歌う。 ・ 歌と歌の間の余韻を大切にすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 布 ・ つえ 	音 1-1～10 音 2-1, 3～6 9, 10 音 3-2, 5, 7 音 4-5 音 5-1～3 体 1-23, 25 道 2-(2), (3)
2 身体遊びうたをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ おふねが ・ せっくんぼ ・ うえから ・ おちゃをのみに ・ ぶーぶー ・ なべなべそこぬけ ・ ちびすけ ・ おちたおちた ・ ひらいたひらいた ・ おじいさん ・ うみだよ ・ くまさん など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちが集中できるように、静的な環境の中で歌う。 ・ 子供が拒否することも受容し、強制しない。 ・ 動的な遊びと静的な遊びをバランスよく取り入れる。 ・ 子供同士の組を作って、手遊びうたや身体遊びうたをさせたり、集団で役を交代しながら身体遊びうたや鬼遊びうたをさせたりして、友達とのかかわり合いを深めさせる。 ・ 大人との関係が強い子供は、教師と組になってわらべ歌遊びをさせる。 ・ 単純な体の動きのわらべ歌から、発達段階や遊びに応じて、より高度なわらべ歌へと変えていく。 		
3 鬼遊びうたをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ いっせん ・ たけのこいっぽんおくれ ・ かごめかごめ ・ あぶくたった ・ はいちもんめ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の時間だけでなく、休み時間など機会をとらえて取り入れる。 ・ 唱えうた、絵かきうた、手合わせうた、じゃんけんうた、まりつきうた、なわ跳びうたなども適宜取り扱っていく。 		
4 曲の鑑賞をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本のいろいろなわらべ歌を聴かせ、日本的な曲にも親しませる。 		

題 材	思 い 出 の う た	月 (時数)	3 月 (4 時間)
目 標	○ 一年間の思い出の歌を歌ったり、踊ったりすることを通じて、教師や友達と一緒に曲に合わせて表現することの楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 一年間の思い出の歌を歌ったり、踊ったりする。 (1) いろいろな歌を歌う。 ・ 春の歌 ・ テレビの主題歌 ・ 秋の歌 ・ わらべうた など (2) みんなで一緒に踊る。 ・ 自由に広がって ・ 二人組で ・ みんなで輪になって (3) 好きな歌を発表する。 ・ 一人ずつ ・ 学級ごとに	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一年間に学習した曲の中から、子供たちが好きだった曲を何曲か選び、季節や行事を振り返りながら取り上げていく。 ・ 歌詞に合った簡単な振りを付けさせ、身体表現しながら楽しく歌えるようにする。 ・ 曲によっては、楽器も使用させ、楽しく活動できるようにする。 ・ 2人組や集団で手をつないで踊ることにより、集団で表現する楽しさを味わわせる。 ・ 2人組での踊りでは、相手を替えていろいろな教師や友達と一緒に踊れるようにする。 ・ LDやマイクを準備してみんなの前で楽しく発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノ ・ 歌詞表 ・ テープレコーダー ・ LD ・ マイク 	音 1-18, 19 2-17 ~21 3-16 ~20 体 1-23 2-24 道 3-(1) 音 1-6, 7 2-4, 6, 9 3-6, 7, 9 体 1-23 2-24 音 1-18, 19 2-17 ~21 3-16 ~20 音 1-18, 19 2-17 ~21 3-16 ~20 体 1-23 2-24 音 1-3 2-1, 2 3-3, 4 道 3-(1)
2 別れの歌を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業式やお別れ会のVTRを見せることにより、別れについての雰囲気に触れさせる。 ・ 絵の付いた歌詞表や範唱テープを準備して、歌詞を分かりやすくしたり、歌詞の内容に合った簡単な振りを付けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 歌詞表 ・ テープレコーダー 	音 1-18, 19 2-17 ~21 3-16 ~20 体 1-23 2-24
3 曲の鑑賞をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式で使われるような曲も聴かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情景の絵 ・ 楽器 	音 1-3 2-1, 2 3-3, 4 道 3-(1)

中学部音楽

題 材	みんなで歌おう	月 (時数)	4～5月 (10時間)
目 標	○ いろいろな曲に合わせて歌ったり、身体表現をしたりして、身近な音楽に親しめるとともに、音楽への興味・関心を高めるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 発声練習をする。 ・ 拍子や音階に合わせてハミングや声出しをする。 2 好きな曲を選んで、歌ったり、踊ったりする。 (1) 好きな曲を選ぶ。 ・ これまでに習った曲 ・ 歌謡曲 ・ 春の歌など (2) 選んだ曲に合わせて歌ったり、踊ったりする。 3 曲に合わせて、歌ったり、身体表現をしたりする。 (1) 範唱を聴く。 (2) 歌詞唱をする。 (3) 曲に合わせて、自由に身体を動かす。 4 「校歌」や「中学部の歌」を歌う。 (1) 範唱を聴く。 (2) 歌詞唱をする。 5 曲の鑑賞をする。 ○ 曲の感想を発表する。	・ ハミングや声出しをすることで今から歌を歌うための準備をしていることに気付かせる。 ・ これまでに習った歌（小・中学部や小学校で）歌謡曲など自分で歌いたい曲や踊りたい曲を選ばせるようにする。 ・ 自分で曲を選びにくい生徒には、いくつかの曲を準備して、その中から選ばせるようにする。 ・ 一人で歌ったり踊ったりさせるだけでなく、友達と一緒に活動するなどできるだけ多くの生徒がかかわれるようにする。 ・ 最初は、生徒に自由に歌わせ、歌いたい欲求を大切にすること。 ・ 範唱を聴かせることにより、曲の感じをとらえさせるようにする。 ・ 歌詞の内容を説明したり、絵や写真などを準備したりして、情景や歌詞の意味などを理解させるようにする。 ・ 教師が歌詞を読んだり、生徒に読ませたりして、歌詞を覚えさせる。 ・ 教室に歌詞を準備して掲示したり、朝の会や帰りの会などで取り入れたりして曲を早く覚えられるようにする。 ・ 曲の鑑賞の仕方や聴く際のポイントなどについても触れておく。 ・ 情景を感じ取りやすいように、絵や写真などを準備する。	・ テープレコーダー ・ CD ・ LD ・ 絵 ・ 写真 ・ 歌詞表 ・ テープレコーダー ・ 歌詞表 ・ テープレコーダー ・ 絵 ・ 写真	音 3-1～2 音 4-1～2 音 3-6～7 音 4-6～8 道 2-(3) 4-(1) 音 3-1～2 6～7 音 4-1 6～7 道 4-(6) 音 3-1, 2 4 音 4-1, 5 音 3-2

題 材	楽 しい リ ズ ム I	月 (時数)	6～7月 (12時間)
目 標	○ 曲に合わせていろいろな打楽器を使って拍子打ちやリズム打ちをすることを通して、リズムカルな曲に親しませるとともに、友達と一緒にリズム合奏をする喜びを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 季節の歌を歌う。 (1) 範唱を聴く。 (2) 範唱を模唱する (3) 歌詞唱をする。	<ul style="list-style-type: none"> 季節感がとらえやすいように、絵や写真などを準備し、歌のイメージを持たせやすくする。 範唱をよく聴かせ、きれいな歌声などに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> テープレコーダー C D L D 絵 写真 	音 3-2, 6～7 道 3-(1) 音 4-2, 3, 4 6～7
2 好きな楽器を使って合奏をする。 (1) 範唱を聴く。 (2) 歌唱を聴きながら自由に拍子打ちやリズム打ちをする。 (3) 好きな打楽器を選び、自由に音を出す。 (4) 教師や友達の拍子打ちやリズム打ちの模倣をする。 (5) それぞれ練習をする。 (6) パートごとに練習をする。 (7) 合奏をする。 (8) 自分たちの演奏を聴く。	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し範唱を聴かせながら、生徒の自由な発想で拍子打ちやリズム打ちをさせるようにする。 楽器は、タンブリン、鈴、カスタネットなどを中心に扱い、曲に応じて大太鼓や小太鼓などその他の打楽器も取り扱うようにする。 楽器の鳴らし方や取り扱い方などについても指導していくようにする。 自由に打っている中で、拍子打ちやリズム打ちができている生徒を選び、他の生徒に模倣させるようにする。 リズム絵譜を見せてリズム打ちをさせる。 リズムを聴かせ模倣させる。 自分たちの演奏を、テープにとって聴くことにより、自分たちの演奏について振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> テープレコーダー C D L D タンブリン 鈴 カスタネット 大太鼓 小太鼓 リズム絵譜 	音 3-4, 8 10～14 音 4-4, 10～14
3 曲の鑑賞をする。 ○ 曲の感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 選曲に当たっては、いろいろな楽器が出てくるような曲を選ぶようにする。 		

題 材	楽 しい 表 現 I	月 (時数)	9 月 (8 時間)
目 標	○ 運動会で歌ったり、踊ったり、感じたことを動作で表現したり、リズムに合わせて歌ったり身体表現をしたりすることを通して表現の楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 運動会の歌を歌う。 (1) 範唱を聴く。 (2) 範唱を模唱する。 (3) 歌詞唱をする。 (4) リズム打ちをする。 2 曲に合わせて、身体表現をする。 (1) 運動会で踊る曲を選ぶ。 (2) 曲を聴く。 (3) 曲に合わせて、自由に身体表現をする。 (4) 教師や友達の動きを模倣しながら、身体表現をする。 (5) 運動会に参加する。 3 いろいろな行進曲を聴いて、身体表現をする。 (1) いろいろな行進曲を聴く。 (2) 曲に合わせて一緒に歩いたり、走ったりする。 4 曲の鑑賞をする。 ○ 曲の感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 運動会で歌う曲を取り扱うので運動会のイメージを持たせやすいように、絵や道具などを準備する。 口の開け方や声の大きさなどに気を付けて、はっきりと元氣よく歌わせる。 4拍子の拍の流れに乗って拍子打ちをさせたり、リズム打ちをさせたりして拍の流れを感じさせる。 運動会で踊る曲をいくつか準備し、生徒に選ばせ意欲的に取り組ませる。 曲を何度か聴かせ、曲の動きのイメージを十分ふくらませるようにする。 曲の速さ、強弱などよく聴かせながら自由な発送で表現させる。 教師や友達が身体表現をするのを見ながら模倣させることにより、曲に合わせた動きの幅を広げる。 生活単元学習との関連を図りながら、学習を進める。 いろいろな速さの曲を選び、その速さに気付かせながら聴かせる。 選曲に当たっては、運動量の多い時期なので、静かな曲なども選び、生活の中で変化を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> テープレコーダー C D L D 運動会で使う道具 運動会の絵 テープレコーダー C D L D V T R テープレコーダー C D L D 	音 3-4, 7 12 音 4-6~7 10, 12 音 3-6~9 体 1-23 ~24 音 4-6~9 音 3-8 音 4-6~7 音 3-3 音 4-1, 4

題 材	ようすをおもいうかべて歌おう	月 (時数)	10月 (8時間)
目 標	○ 歌詞の内容を理解し、情景を思い浮かべながら聴いたり歌ったりすることを通して、曲の美しさを感じ取らせるとともに、きれいな声で歌おうとする態度を養う。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 発声練習をする。 ・ 拍子や音階に合わせてハミングや声出しをする。 2 季節の歌を歌う。 (1) 範唱を聴く。 (2) 範唱を模唱する。 (3) 歌詞唱をする。	・ ハミングや声出しをすることで今から歌を歌うための準備をしていることに気付かせる。 ・ 風景画、野山や校庭の様子、VTRなどを見せたりして、情景を思い浮かばせる。 ・ 繰り返し範唱を聴かせ、メロディーや歌詞を正しく覚えさせる。	・ VTR ・ テープレコーダー ・ CD ・ LD ・ 風景画	音 3-2, 4 6~7 音 3-(1) 音 4-2~4 6~7
3 曲に合わせて歌う。 (1) 範唱を聴く。 (2) 歌詞の意味を調べる。 (3) 範唱の模唱をする。 (4) 歌詞唱をする。 ・ 全員で ・ 学級ごとに ・ 一人ずつ (5) 工夫して歌詞唱をする。	・ 範唱を聴かせることにより、曲の雰囲気をとらえさせたり、情景を思い浮かばせる。 ・ 歌詞の意味を教えながら、それぞれが思い浮かんだ情景やそのときの気持ちなども話し合ったりして、歌うことへの気分を高めるようにする。 ・ 学級ごとに歌うなどお互いに聴き合う機会を持ち、歌い方を工夫したり、きれいな声で歌ったりしていることに気付かせる。 ・ 歌う速さや強弱の変化など工夫して歌わせたり、怒鳴らないできれいな声で歌うように意識付ける。	・ テープレコーダー ・ CD ・ LD	音 3-2, 4~7 国 3-1 音 4-2~6
4 曲の鑑賞をする。 ○ 曲の感想を発表する。	・ 選曲に当たっては、歌唱が含まれているような曲を選ぶ。	・ テープレコーダー ・ CD	音 3-3 音 4-1, 4

題 材	楽 しい リ ズ ム Ⅱ	月 (時数)	11～12月 (10時間)
目 標	○ 打楽器や旋律楽器を使って、リズム打ちをしたり曲の一部や簡単な曲を弾いたりして、リズムのおもしろさや旋律の美しさに気付かせるとともに、楽しく表現しようとする態度を養う。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 祭りやクリスマスの歌を歌う (1) 範唱を聴く。 (2) 範唱を模唱する。 (3) 歌詞唱をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りやクリスマスなどで使う道具などを準備し、歌のイメージを持たせやすいようにする。 ・ 範唱をよく聴かせ、祭りやクリスマスを意味するような歌詞に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ C D ・ L D ・ 風景画 ・ 祭りなどの道具 	音 3-2, 4 6～7 音 4-2～7
2 好きな楽器を使って合奏をする。 (1) 範唱を聴く。 (2) 範唱を聴きながら拍子打ちやリズム打ちをする。 (3) 打楽器や旋律楽器を使って自由に演奏する。 (4) それぞれ練習をする。 (5) パートごとに練習をする。 (6) 合奏をする。 (7) 自分たちの演奏を聴く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打楽器などを取り入れている範唱を聴かせ、演奏への興味・関心を高めるようにする。 ・ 繰り返し範唱を聴かせながら、生徒の自由な発想で拍子打ちやリズム打ちをさせる。 ・ リズム絵符を見せてリズム打ちをさせる。また、いろいろなリズムのパターンを取り扱う。 ・ 「楽しいリズムⅠ」で扱った打楽器を中心にしながら、その他の打楽器も取り入れていく。 ・ 楽器の鳴らし方や取り扱い方などについても指導していく。 ・ 旋律楽器もできるだけ多くの生徒に扱わせるようにし、生徒の実態に応じて弾く部分を選ぶようにする。 ・ 演奏を録音しそれを聴くことによって良かった点やうまくいかなかった点など反省し、よりよい演奏をさせる。 ・ 選曲に当たっては、いろいろな楽器が出てくるような曲を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ C D ・ タンバリン ・ 鈴 ・ カスタネット ・ 大太鼓 ・ 小太鼓 ・ 鍵盤ハーモニカ ・ キーボード ・ テープレコーダー ・ C D ・ L D 	音 3-1, 5 6, 8 10～14 道 4-(2) 音 4-1～2, 4 10～14 音 3-4 音 4-4
3 曲の鑑賞をする。 ○ 曲の感想を発表する。			

標	○ 打楽器や旋律楽器を使って、リズム打ちをしたり曲の一部や簡単な曲を弾いたりして、リズムのおもしろさや旋律の美しさに気付かせるとともに、楽しく表現しようとする態度を養う。
---	---

主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
-----------	-------	-----	------

<p>1 祭りやクリスマスの歌を歌う</p> <p>(1) 範唱を聴く。</p> <p>(2) 範唱を模唱する。</p> <p>(3) 歌詞唱をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りやクリスマスなどで使う道具などを準備し、歌のイメージを持たせやすいようにする。 ・ 範唱をよく聴かせ、祭りやクリスマスを意味するような歌詞に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ CD ・ LD ・ 風景画 ・ 祭りなどの道具 <p>音 3-2, 4 6~7</p> <p>音 4-2~7</p>
<p>2 好きな楽器を使って合奏をする。</p> <p>(1) 範唱を聴く。</p> <p>(2) 範唱を聴きながら拍子打ちやリズム打ちをする。</p> <p>(3) 打楽器や旋律楽器を使って自由に演奏する。</p> <p>(4) それぞれ練習をする。</p> <p>(5) パートごとに練習をする。</p> <p>(6) 合奏をする。</p> <p>(7) 自分たちの演奏を聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打楽器などを取り入れている範唱を聴かせ、演奏への興味・関心を高めるようにする。 ・ 繰り返し範唱を聴かせながら、生徒の自由な発想で拍子打ちやリズム打ちをさせる。 ・ リズム絵符を見せてリズム打ちをさせる。また、いろいろなリズムのパターンを取り扱う。 ・ 「楽しいリズムⅠ」で扱った打楽器を中心にしながら、その他の打楽器も取り入れていく。 ・ 楽器の鳴らし方や取り扱い方などについても指導していく。 ・ 旋律楽器もできるだけ多くの生徒に扱わせるようにし、生徒の実態に応じて弾く部分を選ぶようにする。 ・ 演奏を録音しそれを聴くことによって良かった点やうまくいかなかった点など反省し、よりよい演奏をさせる。 ・ 選曲に当たっては、いろいろな楽器が出てくるような曲を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ CD ・ タンバリン ・ 鈴 ・ カスタネット ・ 大太鼓 ・ 小太鼓 ・ 鍵盤ハーモニカ ・ キーボード <p>音 3-1, 5 6, 8 10~14</p> <p>道 4-(2)</p> <p>音 4-1~2, 4 10~14</p>
<p>3 曲の鑑賞をする。</p> <p>○ 曲の感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選曲に当たっては、いろいろな楽器が出てくるような曲を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ CD ・ LD <p>音 3-4</p>

題 材	わ ら べ う た	月 (時数)	1 月 (6 時間)
目 標	○ わらべ歌を歌ったり集団遊びをすることを通して、わらべ歌遊びを楽しめるとともに、日本的、伝統的なふしに親しませる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 季節の歌を歌う。 (1) 範唱を聴く。 (2) 範唱を模唱する。 (3) 歌詞唱をする。 (4) 身体表現をしながら歌う。 2 わらべ歌遊びをする。 (1) 手遊び歌をする。 ・ いっぱんばしこちょこちょ ・ ずいずいずっころばし (2) じゃんけん歌遊びをする。 ・ おちゃらか ・ おてらのおしょうさん (3) 鬼遊び歌をする。 ・ 花いちもんめ ・ かごめかごめ ・ たけのこ一本おくれ 3 曲の鑑賞をする。 ○ 曲の感想を発表させる。	・ 歌詞の内容が分かるような絵などを準備し、歌の情景をとらえやすくする。 ・ 繰り返し範唱を聴かせ、メロディーや歌詞を正しく覚えさせる。 ・ 曲に合わせて、自由に表現させ曲の感じを出させる。 ・ 「いっぱんばしこちょこちょ」や「ずいずいずっころばし」などできるだけ2人以上でできるような遊びを取り入れ、友達との触れ合いを多くしていく。 ・ じゃんけん遊びや鬼遊びをする際には簡単なルールについて説明し、多くの生徒が楽しめるようにする。 ・ 最初は、教師も一緒に入って援助的に活動するが、歌や遊び方が分かってきたら生徒を中心に活動させる。 ・ 音楽の時間だけでなく休み時間なども取り入れるようにし、生徒の遊びを広げたり、生活の中に音楽を広げていくようにする。 ・ 選曲に当たっては、できるだけ日本的な曲を選ぶ。	・ テープレコーダー ・ CD ・ LD ・ 絵 ・ 風景画 ・ テープレコーダー ・ CD ・ LD ・ テープレコーダー ・ CD ・ LD	音 3-2, 4 音 3-6~8 道 2-(3) 4-(1) 音 4-4~8 音 3-3 音 4-3~4

題 材	楽 しい 表 現 II	月 (時数)	2 月 (8 時間)
目 標	○ 音楽を聴いて、感じたことを動作で表現したり、曲に合わせて身体表現したりすることにより、表現の楽しさを味わわせるとともに、楽しく表現しようとする態度を養う。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 昨年の学習発表会のVTRを見て踊った踊りや劇の中の歌の鑑賞をする。 2 劇の曲を歌う。 (1) 劇で歌う曲を選ぶ。 (2) 選んだ曲を歌う。 3 曲に合わせて身体表現をする。 (1) 学習発表会で踊る曲を選ぶ。 (2) 曲を聴く。 (3) 曲に合わせて、自由に身体表現をする。 (4) 教師や友達の様子を模倣しながら、身体表現をする。 (5) グループに分かれて発表をする。 ・ 学級別 ・ 男女別 (6) 学習発表会に参加する。 4 発表会のVTRを見て、自分たちの踊った踊りや劇の中で歌った歌などを鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年使った曲を聴くことで今年の選曲に意欲を持たせる。 ・ 劇に合った曲をいくつか準備する中で生徒に選ばせ、自分たちで劇を作るという気持ちを持たせる。 ・ 劇の流れを思い出させながら、場面に応じた歌い方を工夫させる。 ・ 学習発表会で踊る曲をいくつか準備し、生徒に選ばせ意欲的に取り組めるようにする。 ・ 曲を何度か聴かせ、曲や動きのイメージをふくらませる。 ・ 曲の速さや強弱などに気付かせながらそれぞれの自由な発想で表現させる。 ・ 教師や友達が身体表現するのを見ながら模倣させることにより、曲に合わせた動きの幅を広げるようにする。 ・ 身体表現をしながら、拍子打ちやリズム打ちなどを部分的に取り入れる。 ・ いくつかのグループに分かれて発表させることにより、友達の様子を見たり、自分の表現を振り返ったりする機会を持たせる。 ・ 生活単元学習との関連を図りながら学習を進めるようにする。 ・ 自分たちの表現を鑑賞し、良かった点やうまくいかなかった点など、それぞれ振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ テープレコーダー ・ CD ・ LD ・ VTR ・ テープレコーダー ・ CD ・ LD ・ VTR ・ 鈴 ・ カスタネット ・ 大太鼓 ・ 小太鼓 ・ VTR 	音 3-1～2, 10 音 4-1～2, 4 音 3-4, 6～8, 10, 12 音 4-4, 6～7, 9～10 音 3-1～2 音 4-1, 3 道 1-(5)

題 材	気持ちをこめて歌おう	月 (時数)	3月 (4時間)
目 標	○ 歌詞の内容を理解し、気持ちをこめて歌おうとする態度を養う。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 発声練習をする。 ○ 拍子や音階に合わせてハミングや声出しをする。 2 式歌やお別れ会で歌う歌を聴く。 3 式歌を歌う。 (1) 範唱を聴く。 (2) 範唱を模唱する。 (3) 歌詞唱をする。 (4) フレーズやプレスに気を付けて歌う。 4 別れに関する歌を歌う。 (1) 範唱を聴く。 (2) 範唱を模唱する。 (3) 歌詞唱をする。 5 いろいろな歌を歌う。 6 曲の鑑賞をする。 ○ 曲の感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ハミングや声出しをすることで今から歌を歌うための準備をしていることに気付かせる。 VTRを準備し、昨年の式やお別れ会で歌った歌などを思い出させたり、式や会の雰囲気を感じ取らせたりする。 繰り返し範唱テープを聴かせ、メロディーや歌詞を正しく覚えさせるようにする。 発音の間違えやすい所は、歌う前に読んだり読ませたりしてできるだけ正しく覚えさせるとともに、簡単な意味についても触れておく。 プレスの位置などを教えることにより歌のまとまりを感じさせる。 範唱を聴かせることにより、曲の雰囲気をとらえさせ、メロディーや歌詞を覚えさせるようにする。 歌の速さや強弱の変化、曲の山などに気を付けさせながら歌わせることにより気持ちをこめて歌うことの感じをとらえさせる。 一年間のまとめとして、これまでに習った歌や生徒が好きな歌などを自由に選ばせて歌わせる。 式に使われるような曲を準備し、式の雰囲気を感じ取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> テープレコーダー CD LD VTR テープレコーダー CD LD VTR テープレコーダー CD LD 	音 4-(6) 音 3-1~2 4~5 音 4-1~2 4 国 3-1 音 3-2, 4, 6 音 4-2~4 音 3-3 音 4-2, 4

高等部音楽

題 材	みんなで歌おう	月 (時数)	4～5月 (6時間)
目 標	○ 明るく、楽しい曲想に触れながら、歌ったり、身体表現をしたりして、音楽を愛好する態度を養う。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>1 「校歌」を歌う。</p> <p>(1) 歌詞唱をする。</p> <p>(2) 指揮をする。</p> <p>(3) リズム打ちをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 録音した歌声を聴かせたり、歌詞表を提示したりすることによって、歌うことに意欲を持たせる。 ・ 歌詞表等を示し覚えるように促す。 ・ 発声練習も兼ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ 歌詞表 	音 3-16 道 4-(6)
<p>2 いろいろな歌を歌う。</p> <p>(1) 好きな歌を発表して一人ずつまたはみんなで歌う。</p> <p>(2) 題材について取り上げた曲の歌詞を読んだり、範唱を聴いたりする。</p> <p>(3) 歌詞唱をする。</p> <p>(4) 拍子打ちをする。</p> <p>(5) リズム打ちをする。</p> <p>(6) リズム打ちをしながら歌う。</p> <p>(7) 友達に歌を聴いてもらう。</p> <p>(8) 友達の歌を聴く。</p> <p>(9) 曲に合わせて、自由に体を動かす。</p> <p>(10) 自分なりの身体表現を考え曲に合わせて体を動かす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の歌声を大切に、怒鳴らずに歌うように促す。 ・ 範唱や範奏を聴かせて、なじみのあるリズムカルな曲から扱っていき、楽しい曲想を感じ取らせる。 ・ 題材では、身近な曲から歌謡曲など幅広く選んでいく。 ・ 声が出ないように、腹部に手を当てさせたり、寝て歌わせたりなどして工夫していく。 ・ 曲に合わせて拍子打ちやリズム打ちをさせながら、曲の流れを感じ取らせる。 ・ お互いに歌を聴き合うことで、いい点を見つけたり、自分の歌の工夫をしたりするように促していく。 ・ 曲に合わせての動き方を段階的に指導していく。 教師が手本を示しながら 友達のまねをしながら ・ 能力に応じて自分で工夫させながら、曲に合わせて動くように促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ C D ・ L D ・ V T R ・ 打楽器数種 	<p>音 5-18, 20 音 3-20 音 4-15</p> <p>音 5-19 音 4-18, 17</p> <p>音 4-6, 7 10</p> <p>音 5-8, 9 10</p> <p>体 3-28 体 4-29 道 2-(3)</p>
<p>4 曲の鑑賞をする。</p> <p>(1) 静かに聴く。</p> <p>(2) 自由に体を動かして聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情景を感じ取りやすいように、必要に応じて絵やV T R, L Dを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵 ・ V T R ・ L D 	音 5-1, 2, 3

題 材	楽 しい リ ズ ム	月 (時数)	6～7月 (8時間)
目 標	○ リズミカルな楽しい曲に合わせ、身体表現や楽器での演奏を楽しませる中で、明るく伸び伸びとした心情を育てるとともに拍子感を養う。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 曲の鑑賞をする。 (1) 舞踏曲を鑑賞する。 (2) 行進曲を鑑賞する。 (3) 曲に合わせて一緒に歩いたり、身体表現をする。	<ul style="list-style-type: none"> リズム、速さ等の変化を感じながら聴くようにさせる。 曲に合わせて体を動かしながら、3拍子、4拍子を感じさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テープレコーダー ・CD ・LD ・VTR 	音 5-1, 2, 3 音 4-2, 4, 5 音 4-8, 9 体 4-29 音 3-9 体 3-29 道 2-(3)
2 曲に合わせてダンスをする。 (1) 簡単な繰り返しのあるダンスをする。 (2) フォークダンスをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と一緒に ・ 友達と一緒に ・ 一人で ・ 友達の踊りの鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拍の流れに乗って、体全体を使って、身体的な表現ができるように促す。 ・ 教師や友達の動きを見ながら、リズムの乗り方に気付かせていく。 ・ 一般的に知られているフォークダンスを覚えさせることで、社会参加を促していく。 		
3 曲に合わせて歌ったり、身体表現をしたりする。 (1) 拍子打ち、リズム打ちをしながら歌う。 (2) 曲に合わせて体を動かす。 (3) 曲に合わせて身体表現をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の中のリズムに気付くように促しながら聴かせるようにする。 ・ フレーズのまとまりごとに簡単な動作で表現させる。 ・ 生徒の動きを取り入れて振り付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打楽器数種 	音 4-6, 7, 10 音 5-8, 9, 10, 11
4 簡単な曲に合わせて打楽器等で演奏する。 (1) リズム模倣やリズム問答、リズムリレー、打楽器によるリズム打ちなどのリズム遊びをする。 (2) リズム奏をする。 (3) VTRやテープにとる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ リズム遊びをしていく中で、リズムの楽しさに気付かせていく。 ・ いろいろなリズム打ちをさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ・ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ ♩ など ・ 即興的なリズム奏も実態に応じて取り入れていく。 		音 3-12, 13 音 4-10 音 5-11 音 4-3 音 5-4

題 材	日 本 の ふ し	月 (時数)	9～10月 (12時間)
目 標	○ 日本の歌や民謡などを歌ったり、聴いたり、曲に合わせて踊ったりすることを通して、日本のふしの美しさを感じ取り表現する喜びを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
<p>1 琴、尺八、三味線、和太鼓、鼓等の音色の入った曲を鑑賞する。</p> <p>(1) 使われている楽器を知る。</p> <p>(2) 曲に合わせて体を動かす。</p> <p>2 日本のふしに合わせて踊る。</p> <p>(1) 曲を聴く。</p> <p>(2) 曲に合わせて自由に踊る。</p> <p>(3) 範唱に合わせて一緒に歌う。</p> <p>(4) 簡単な振りを知り、みんなと一緒に踊る。</p> <p>3 曲に合わせて打楽器で演奏する。</p> <p>(1) 祭りや太鼓のリズミカルな日本のふしの曲を聴く。</p> <p>(2) 曲に合わせてリズム奏をする。</p> <p>(3) 友達の演奏を見たり、友達に見てもらったりする。</p> <p>(4) 歌い手、演奏者に分かれて一緒に合わせる。</p> <p>4 日本のふしを歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵、VTR等視聴覚教材を使ってできるだけイメージしやすいように工夫していく。 ・ 和楽器で演奏しているなじみのある曲を聴かせるなどして、少しでも親しめるようにしていく。 ・ 鹿児島県の民謡も積極的に取り入れる。 ・ 日本音楽と西洋音楽とを比べて聴かせふしの違いに気付かせる。 ・ 曲のリズムを感じながら自由な表現をさせる。 ・ 曲の簡単な部分は、できるだけはっきりと歌うように促す。 ・ 民謡などの簡単な振りを教え、模倣させながら一緒に楽しく踊れるようにする。 ・ 自由に体でリズムを取りながら躍動感のある日本音楽のふしに親しませていく。 ・ 太鼓、竹、鈴などを曲に合わせてたたかせることで体全体でリズムを感じさせる。 ・ 友達の演奏を見ることにより、自分の演奏の仕方を工夫させていく。 ・ 簡単な日本音楽の歌詞を覚えさせることにより、生活の中に少しでも取り入れられるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵、写真 ・ テープレコーダー ・ CD ・ LD ・ VTR ・ 竹、ホイルの芯など工夫した楽器 ・ 身近な音の出るもの ・ 楽器数種 	<p>音 4-2</p> <p>音 5-1, 2, 3</p> <p>道 4-(7), (8)</p> <p>音 5-22</p> <p>音 4-9</p> <p>音 5-10</p> <p>音 4-15</p> <p>体 4-30</p> <p>体 5-24</p> <p>道 2-(3)</p> <p>音 4-14</p> <p>音 5-17</p>

題 材	音 の ひ び き	月 (時数)	11～12月 (8時間)
目 標	○ 友達と一緒に歌ったり、演奏したり、曲を聴いたりしながら、音の響きの美しさや音が重なり合ったときの美しさを感じ取り、共に表現する喜びを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 曲を鑑賞する。 (1) いろいろな楽器の音色の違いに注意して聴く。 (2) 独奏曲を聴く。 (3) アンサンブル曲やオーケストラの曲を聴く。 2 音楽ゲームをする。 (1) 楽器当てゲーム (2) 音当てゲーム 3 みんなで歌を歌う。 (1) 輪唱曲を歌う。 (2) 簡単な二重唱曲を歌う。 (3) 斉唱に楽器で低音部や和音を入れて歌う。 4 楽器で簡単な演奏をする。 (1) 範奏を聴く。 (2) 部分奏をする。 ・ 根音奏 ・ 和音奏 (3) 友達の演奏を聴いたり、自分の演奏を聴いてもらったりする。	・ いろいろな楽器の写真や絵を見せたりして音色とともに楽器にも関心を持たせていく。 ・ 1つの楽器で演奏した曲と複数の楽器で演奏した曲との音色の違いに気付かせる。 ・ 音に関心を持たせるために、陰に隠して鳴らした楽器の名前当てをする。 ・ 簡単な音、和音を聴かせ、違いに気付かせるようにする。 ・ 絵図などを利用して、輪唱についての理解をさせる。 ・ 簡単な旋律に合う音を選択して低音部を作り、歌と一緒に合わせ、響きの美しさに気付かせる。 ・ 曲と調和する音に気付かせる。 ・ 伴奏のピアノなどに合わせて、簡単な合奏をさせていく。 ・ 全部ではなく、曲の簡単な部分を演奏することから始め、楽器を演奏することに興味や関心を持てるようにしていく。 ・ お互いの演奏を聴き合うことで、友達の演奏の良い点に気付かせていく。 ・ いろいろな楽器の音色に気を付けて聴くことで合奏の美しさを味わわせていく。	・ 楽器の写真や絵 ・ 演奏楽器 ・ テープレコーダー ・ CD ・ LD ・ VTR ・ 絵図 ・ 鉄琴 ・ 笛 ・ ベル ・ トライアングル 等 ・ 楽器数種	音 5-1, 2 3 音 4-2 音 4-16, 19 音 5-20, 21 音 3-15 音 4-12 音 5-16, 17 道 2-(3)

題 材	楽 器 で 表 現	月 (時数)	1 ~ 2 月 (14時間)
目 標	○. いろいろな音楽の曲想に触れさせ、友達と一緒に合奏することを通して、楽しく表現しようとする態度を養う。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
<p>1 いろいろな楽器を使った曲を鑑賞する。</p> <p>(1) オーケストラの曲を聴く。</p> <p>(2) バンド演奏の曲を聴く。</p> <p>(3) 独奏曲を聴く。</p> <p>(4) 楽器当てをしながら聴く。</p> <p>2 好きな楽器を使って合奏をする。</p> <p>(1) 曲に合わせて自由に楽器を鳴らす。</p> <p>(2) 範奏テープを聴く。</p> <p>(3) 自分が演奏する楽器を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 打楽器 ・ 旋律楽器等 <p>(4) パート練習をする。</p> <p>(5) 合奏をする。</p> <p>(6) 発表会に参加する。</p> <p>3 発表会のVTRを見て自分たちの演奏を鑑賞する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーケストラやいろいろな演奏で使われている楽器を紹介しながら、楽器には多くの種類があることに気付かせる。 ・ 視聴覚教材を使用し、楽器のイメージを持つようにしていく。 ・ 主な楽器を鳴らして、楽器の名前を当てるようにする。 ・ 打楽器を中心に、好きな楽器を選ばせ自由にリズム打ちをさせる。 ・ 簡単な和音奏をさせる。 ・ ♪♪♪? や ♪♪♪}などのリズムを感じ取らせる。 ・ 範奏を聴かせながら、曲想をつかませ主な旋律を感じ取らせる。 ・ できるだけやりたい楽器を使わせ、選べない友達と一緒に考えさせる。 ・ パートごとで友達の演奏を聴き合いながら練習をさせる。 ・ 旋律楽器の生徒には、主な旋律を覚えながら、階名暗唱もできるだけさせ、個別練習や、部分練習を工夫しながら進める。 ・ 周りの音を聴き合いながら速度に注意して合奏させる。 ・ 練習した合奏曲を発表させ、表現する喜びを味わわせる。 ・ 学習発表会や交流会で発表させる。 ・ 自分たちの演奏を鑑賞しながら、良かった点や努力する点を話し合い、次の学習に意欲を持たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープ ・ C D ・ L D ・ V T R ・ 楽器数種 ・ テープレコーダー ・ 楽器数種 ・ テープレコーダー ・ 楽器数種 ・ 指揮棒 ・ V T R 	<p>音 5-1, 2, 3, 5</p> <p>音 4-2, 4, 5</p> <p>音 4-10</p> <p>音 5-11</p> <p>音 4-11, 12, 13, 14</p> <p>音 5-12, 13, 15</p> <p>道 1-(5)</p> <p>道 2-(1)</p> <p>音 5-16, 17</p> <p>音 4-3</p> <p>音 5-4</p>

題 材	気持ちをこめて	月 (時数)	3月 (6時間)
目 標	○ 歌詞の意味を理解して、気持ちを込めて歌おうとする態度を育てるとともに、音楽を愛好し、生活を明るく楽しいものにしようとする心情を養う。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
<p>1 いろいろな歌を歌う。</p> <p>(1) 範唱を聴く。</p> <p>(2) 模唱する。</p> <p>(3) 歌詞唱をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌詞の意味 <p>(4) 感情をこめて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜ 山 ＞ 曲の山 発声法 <p>(5) TVなどでよく耳にする曲を聴いたり、曲に合わせて踊ったりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> テープやCDを聴かせて、曲の雰囲気をつえさせたり、メロディーや歌詞を覚えさせたりする。 歌詞やメロディーから受けるイメージを基に曲想を考えさせる。 発声練習を取り入れたりして、伸び伸びした声で歌わせる。 生徒の好きな曲のテープを持ってこさせるなどしてみんなと一緒に聴く。 ディスコ大会など、場の設定を工夫して、自由に曲に合わせて踊らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> テープレコーダー CD VTR 	<p>音 5-14, 18, 19</p> <p>音 4-1</p> <p>生・遊 3-2</p> <p>体 4-29</p> <p>音 4-15, 17</p> <p>音 5-20</p> <p>音 4-19</p>
<p>2 式歌を歌う。</p> <p>(1) 範唱を聴く。</p> <p>(2) 範唱を模唱する。</p> <p>(3) 歌詞唱をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2小節ずつなど <p>(4) フレーズやプレスに気を付けて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伴奏に合わせて 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し範唱を聴かせ、メロディーや歌詞を正しく覚えさせる。 歌詞カードを提示し、メロディーやリズムに気を付けさせて、はっきりと歌わせる。 歌詞を読ませて、プレスの位置やフレーズとしてのまとまりに気付かせる。 式のVTRを見るなどして、式の雰囲気を感じ取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞表 テープレコーダー CD LD VTR 	<p>音 5-1. 2 3</p> <p>音 4-2</p> <p>道 2-(1)</p>
<p>3 曲の鑑賞をする。</p> <p>(1) 式の入場曲や証書授与のバックミュージックを聴く。</p> <p>(2) 物語の曲を聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 式に使われるような曲を準備し、式の雰囲気を感じ取らせるとともに、演奏形態や楽器等にも触れ、音色の美しさを味わわせる。 情景を思い浮かべながら聴かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵 写真 	